



- 学歴：京都大学総合人間学部卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士（人間・環境学）。
- 研究分野：哲学・環境人文学。近年は、「人新世」の人間の条件というテーマで、研究を行っている。また、人文社会系のアカデミアの拡張の可能性を、アーティストなどとの共同関係のなかで構想している。

# 業績

- 単著書として『公共空間の政治理論』（人文書院、2007年）、『空間のために』（以文社、2011年）、『全－生活論』（以文社、2012年）、『生きられたニュータウン』（青土社、2015年）、『複数性のエコロジー』（以文社、2016年）、『人新世の哲学』（人文書院、2018年）、『「人間以後」の哲学』（講談社選書メチエ、2020年）。主な翻訳書として『社会の新たな哲学』（マヌエル・デランダ著、人文書院、2015年）、『自然なきエコロジー』（ティモシー・モートン著、以文社、2018年）。その他、写真家の川内倫子の写真集への寄稿など。

# 近年の京都大学内および学外での主な研究活動状況

- 人新世の空間哲学：リズム・気配・人間ならざるものとの共存の空間をめぐって（科研費基盤研究C 2020年4月 - 2024年3月：研究代表者 篠原雅武）
- 惑星的な課題とローカルな変革：人新世における持続可能性、科学技術、社会運動の研究（科研費基盤研究A2020年4月 - 2025年3月：研究代表者 森田 敦郎 大阪大学, 人間科学研究科, 教授）
- 京都大学人文科学研究所の研究班（「環世界の人文科学」等）での共同研究
- 京都大学大学院人間・環境学研究科等の大学院生との自主ゼミ（Anthropoceneの人文科学に関する文献読解や調査）。

# 受験生へのコメント

- 人類社会が次々と多様な課題に直面している現実に取り組むことの難しさを理解した上で、総合知につながるような専門軸を持ちながら総合知へと至る研究を行うことが難しいことを理解した上で受験してください。